

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成24年8月10日
【四半期会計期間】	第19期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	ワイエスフード株式会社
【英訳名】	Y.S.FOOD CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 緒方 正憲
【本店の所在の場所】	福岡県田川郡香春町大字鏡山字金山552番8
【電話番号】	0947(32)7382（代表）
【事務連絡者氏名】	管理本部長 岩下 征吾
【最寄りの連絡場所】	福岡県田川郡香春町大字鏡山字金山552番8
【電話番号】	0947(32)7382（代表）
【事務連絡者氏名】	管理本部長 岩下 征吾
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜1丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第18期 第1四半期連結 累計期間	第19期 第1四半期連結 累計期間	第18期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高 (千円)	724,458	575,379	2,842,434
経常利益又は経常損失 () (千円)	5,418	18,509	14,640
四半期(当期)純損失() (千円)	25,516	36,119	200,418
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	25,583	31,742	189,182
純資産額 (千円)	2,212,989	2,017,648	2,049,391
総資産額 (千円)	4,274,186	3,930,019	4,118,461
1株当たり四半期(当期)純損失金額 (円)	683.53	967.58	5,368.82
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	51.8	51.3	49.8

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第18期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

第19期第1四半期連結累計期間及び第18期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、前第2四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や経済政策効果により緩やかに回復の兆しが見られたものの、欧州金融問題や電力の安定供給への不安、円高の長期化等により、雇用・所得環境の個人消費の大幅な改善には至らず、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましても、世界経済の減速懸念、計画停電等によるエネルギーの価格上昇・安定供給への不安、増税・年金問題等に加え、「食」の安心・安全に対する社会的関心も高くなり、消費者の外食控えの傾向が強まる一方、顧客獲得に向けた外食市場での低価格競争に加え、新規参入者との企業間競争も激化しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、店舗モニタリングの継続、接客マナーの向上、店舗クリーンネスの徹底に積極的に取り組むことで店舗体質を改善するとともに、社員の独立支援を積極的に行い、社員のモチベーションの向上を図ることで、店舗収益の増加及び固定費の圧縮等、企業体質の改善を進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高が前年同四半期に比べ149百万円減少し、575百万円となりました。利益面につきましては、営業損失16百万円（前年同四半期は営業損失2百万円）、経常損失18百万円（前年同四半期は経常損失5百万円）、四半期純損失36百万円（前年同四半期は四半期純損失25百万円）の減益となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、前第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（外食事業）

当第1四半期連結累計期間における外食事業におきましては、各種セール及び新メニューの導入を実施するとともに、店舗モニタリングの継続と、接客マナーの向上、店舗クリーンネスの徹底に積極的に取り組み、店舗体質の改善に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の店舗状況は、海外での新規出店が3店舗、契約満了を含む店舗の閉鎖が7店舗（F C店5店舗、海外2店舗）、直営店からF C店へ変更した店舗が5店舗あったことから、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、前連結会計年度末に比べ4店舗減少して149店舗（直営店23店舗、F C店108店舗、海外18店舗）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は535百万円（前年同四半期比22.0%減）、営業利益4百万円（同76.0%減）となりました。

（不動産賃貸事業）

当社が所有する店舗用地等の有効活用を目的とした賃貸事業を行っております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は13百万円（同5.4%減）、営業利益6百万円（同18.5%増）となりました。

（外販事業）

連結子会社大幸食品(株)が、お客様及び当社にすりごまの製造販売を行っております。

連結子会社ふくおか製麺(株)が、当社の生産する製品を主要販売品目とし、外販を行っております。

当第1四半期連結累計期間における外販事業の売上高は22百万円（同1.3%減）、営業損失15百万円（前年同四半期は営業損失10百万円）となりました。

（2）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（3）研究開発活動

特記すべき事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	55,000
計	55,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	38,730	38,730	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	当社は単元株制度は採用していません。
計	38,730	38,730	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	38,730	-	1,002,050	-	799,750

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 1,400	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 37,330	37,330	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	38,730	-	-
総株主の議決権	-	37,330	-

（注）「完全議決権株式（その他）」欄には、証券保管振替機構名義の株式が2株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
ワイエスフード株式会社	福岡県田川郡香春町 大字鏡山字金山552番8	1,400	-	1,400	3.61
計	-	1,400	-	1,400	3.61

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	616,230	465,683
売掛金	112,304	111,388
有価証券	10	10
商品及び製品	124,025	117,520
仕掛品	4,152	6,116
原材料及び貯蔵品	24,402	23,700
その他	75,250	68,439
貸倒引当金	718	695
流動資産合計	955,658	792,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,137,982	1,141,099
機械装置及び運搬具(純額)	90,017	86,302
土地	1,566,172	1,566,172
その他(純額)	34,385	18,861
有形固定資産合計	2,828,557	2,812,435
無形固定資産		
のれん	39,851	34,869
その他	12,979	12,287
無形固定資産合計	52,830	47,157
投資その他の資産		
投資有価証券	31,116	35,700
繰延税金資産	104,059	98,823
敷金及び保証金	149,804	137,862
その他	12,256	21,534
貸倒引当金	15,821	15,657
投資その他の資産合計	281,414	278,262
固定資産合計	3,162,802	3,137,856
資産合計	4,118,461	3,930,019

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	105,158	82,761
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	391,732	378,217
未払法人税等	30,696	6,393
賞与引当金	13,012	12,412
ポイント引当金	5,878	4,068
資産除去債務	1,000	1,000
その他	237,635	239,754
流動負債合計	985,114	924,607
固定負債		
長期借入金	807,514	715,409
退職給付引当金	77,363	73,767
役員退職慰労引当金	45,850	47,492
資産除去債務	44,308	44,547
その他	108,919	106,546
固定負債合計	1,083,956	987,763
負債合計	2,069,070	1,912,370
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,002,050	1,002,050
資本剰余金	799,750	799,750
利益剰余金	266,831	230,711
自己株式	29,400	29,400
株主資本合計	2,039,231	2,003,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,159	14,537
その他の包括利益累計額合計	10,159	14,537
純資産合計	2,049,391	2,017,648
負債純資産合計	4,118,461	3,930,019

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	724,458	575,379
売上原価	223,657	237,018
売上総利益	500,801	338,361
販売費及び一般管理費	503,227	354,499
営業損失()	2,426	16,137
営業外収益		
受取利息	233	211
受取配当金	45	44
協賛金収入	209	500
未払配当金戻入益	526	455
その他	990	878
営業外収益合計	2,005	2,091
営業外費用		
支払利息	4,739	4,269
その他	257	193
営業外費用合計	4,997	4,463
経常損失()	5,418	18,509
特別利益		
固定資産売却益	-	54
特別利益合計	-	54
特別損失		
固定資産除却損	249	415
減損損失	24,148	-
特別損失合計	24,397	415
税金等調整前四半期純損失()	29,815	18,870
法人税、住民税及び事業税	7,132	4,910
法人税等調整額	11,432	12,338
法人税等合計	4,299	17,248
少数株主損益調整前四半期純損失()	25,516	36,119
四半期純損失()	25,516	36,119

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	25,516	36,119
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	67	4,377
その他の包括利益合計	67	4,377
四半期包括利益	25,583	31,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,583	31,742
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ減少しておりますが、金額は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

用途	場所	種類	減損損失(千円)
ラーメン店	愛知県豊橋市	建物及び構築物	11,877
	愛知県岡崎市	建物及び構築物	12,270

当社グループは、店舗等については継続的な収支の把握を行っている単位を、遊休資産については各資産単位を一つの資産グループとしております。

また、その他の連結子会社は一つの単位としてグルーピングしております。

その結果、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである店舗における資産グループのほか、閉店が確定した店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(24,148千円)として特別損失に計上いたしました。その内訳は、建物であります。

なお、回収可能価額は使用価値によっており、使用価値については、将来キャッシュ・フローを4.0%で割引いて算定しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	35,323千円	28,607千円
のれんの償却額	4,981	4,981

(株主資本等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	外食事業	不動産 賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	687,243	14,491	22,343	724,078	380	724,458	-	724,458
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,945	39	968	2,953	-	2,953	2,953	-
計	689,189	14,530	23,312	727,031	380	727,411	2,953	724,458
セグメント利益 又は損失()	16,770	5,633	10,622	11,781	37	11,819	14,245	2,426

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 14,245千円には、セグメント間取引消去610千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 14,856千円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」において、継続的に営業損失を計上している店舗資産につきまして、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、24,148千円を減損損失として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	外食事業	不動産 賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	535,850	13,716	22,051	571,617	3,762	575,379	-	575,379
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,132	39	819	2,991	-	2,991	2,991	-
計	537,982	13,755	22,870	574,608	3,762	578,370	2,991	575,379
セグメント利益 又は損失()	4,023	6,677	15,440	4,738	496	4,241	11,895	16,137

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 11,895千円には、セグメント間取引消去317千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 12,213千円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「外販事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	683円53銭	967円58銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	25,516	36,119
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	25,516	36,119
普通株式の期中平均株式数(株)	37,330	37,330

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。また、当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月10日

ワイエスフード株式会社
取締役会 御中

三優監査法人

代表社員 公認会計士 杉田 純 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 吉川 秀嗣 印
業務執行社員

業務執行社員 公認会計士 堤 剣吾 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているワイエスフード株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ワイエスフード株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。